

令和6年度 授業改善推進プラン全体計画

学校づくりの合言葉「かかわる力」

教育目標

◎考える子
◎やさしい子
○やりとげる子
○たくましい子

こどもの「意見表明機会」の創出、自主性、主体性への導き
「自分も他の人も大切にする」人権の根幹の体得

◎：本年度の重点とする目標

I オールスタッフで、こども一人ひとりが生き生きと「全力」で学習・活動できる学校にする。

- 「教えて、考えさせる授業」を基本とし、こどもが自ら「考え」、自ら「学ぶ」学習、互いに「学び合う」学習を進める。
- 教育活動及び各種学校行事に、学年の発達段階に応じたためあてをもち、こども自身が役割を自覚し、積極的に取り組めるしかけを常に考える。
- こどもが自らの健康・安全に関心をもち、「自己の課題」と「よさ」を把握しながら、体力の向上や怪我の予防、心の健康を図る。
- 全学年で教科担任制・交換授業に挑戦し、一人のこどもをみんなで指導・支援する取組を進める。
- 学習者用端末を積極的に活用する。

II オールスタッフで、学びの場にふさわしい教育環境（指導環境・学校美化環境）の整った学校にする。

- 清潔でさわやかな環境になるようスタッフ自ら清掃、美化に努め、環境を維持する。
- 計画（Plan）、実行（Do）、評価（See）、改善（Action）を日常的に行う。
- 「チーム・オール」で学年・学級関係なく全ての子どもを指導・支援する。
- 習熟度少人数算数指導など、個に応じた指導を丁寧かつ徹底する。

III オールスタッフで、学校の取組が家庭・地域に理解され、協力を得て、信頼につながるよう努める。

- 教育活動をいつでも公開できる状況にする。
- 教育方針や学校の取組を積極的に学校だよりや学校ホームページ、学級だより等で発信する。
- 内部及び外部の評価（意見）をもとに学校改革を押し進める。

IV オールスタッフで、教職員が互いに高め合い、共に汗を流し、協働する学校にする。

- 短時間でも他学級の授業・子どもを見る「拝見勉強」を進め、同僚スタッフから多くのことを学ぶ。
- 試行実践や教員 OJT を通して互いに謙虚に学び合い、切磋琢磨する。
- 全教員が東京都教職員研修センターの研修に申し込み、最先端の研修を受講し、こどもたちに還元する。

V オールスタッフで、こども、保護者、地域、教職員が誇りにできる「十小コミュニティ・スクール」にする。

- 一期一会、十小及び十小地域の発展のために全力投球する。
- 地域の思いや願いを形にする。（熟議と実行）
- こどもたちの健やかな育ちのために保護者・地域の方々・地域施設の方々が参画・協働する場を積極的に設定する。
- 「あいさつ」「ありがとうございます」「お世話になります」の言葉が通うことが連携の基盤になることを心にとめ、積極的に地域・保護者の方々とかかわり、ふれあう。

授業改善に向けた視点

- ① 「『教科書』が正しく読める、『教科書』の内容が分かる」こどもを育てる。
- ② 「学ぶ楽しさ」を実感させながら「学習意欲」を高め、誰一人取りこぼさない授業を目指す。
- ③ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用を図る。
- ④ 「教えて、考えさせる授業」を行う。
- ⑤ 学習者用端末の積極的活用、大型テレビ、書画カメラ、デジタル教科書など ICT の活用も含めた指導内容・方法・体制の工夫・改善を図る。
- ⑥ 学校図書担当教員、学校司書と連携し、学校図書館の機能や教材・教具の充実を図る。